

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	岐阜市	学校名	岐阜市立方県小学校			
校長名	木下 康	対象学年	5年生	人数	17	人
活動名	ふるさと方県 ～自慢の伊自良川のよさを 発信しよう～		時間数	60 時間	継続年数	23 年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 6 その他（ ）				[伊自良川の環境調査] [] [] [] [] []	
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習「むくの木タイム」の5年生の主題として位置づけ、子ども自らがテーマとゴールを決め、活動の企画、リサーチ、プレゼン等の展開を意図的・計画的に進め、発表会を通して下学年に取組の成果を継承する。 地元ボランティアや外部の専門家を招くことで、初めて担当する担任にも過負担のない運営ができるようにする。 					

1 ねらい

伊自良川の豊かな自然を守るアイデアを、全校や地域に提案することを通して、ふるさと方県を愛する心を醸成すると共に、仲間と共に問題を解決する力を身につける。

2 活動の概要

学習テーマを「方県の自慢、伊自良川は本当にきれいなのか」に決め、地域ボランティアや市の自然環境課の方を講師に招き、伊自良川の歴史や環境特性についての講話、ガサガサ（タモを使った水生生物の捕獲）、カワゲラウォッチング等のリサーチ活動を行った。取組のまとめとして壁新聞を作ったり、劇にして全校児童と保護者の前で発表したりすると共に、アースレンジャー子ども会議で活動の成果を報告した。



3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

伊自良川の自然に詳しい地域の方の指導で、ライフジャケットをつけて川に入り、ガサガサを体験し、絶滅危惧種を多数種含む、30種以上の生物を確認することができた。この体験をもとに作った劇「ふるさと方県」は、伊自良川を自慢に思う子どもたちの気持ちが豊かに表現されたよい発表となり、保護者にも好評であった。

4 活動を通しての児童生徒の変容

講師の先生へのお礼の手紙には、たくさんの生き物の見つけ方や名前を教わったお礼に加え、伊自良川の自然を守っていくために、ごみや汚水を流さないなど自分にできることをやっていきたいという思いが綴られていた。また、劇を見た下学年の児童には、この学習を継承していきたいという意欲が芽生えた。